

裏話し

畳屋さんの恥ずかしい
バックヤードの公開です。

大変だ！ 脚がもげた

時折お客様のお宅で見かける大きな座卓、一枚板のいかにも重そうな座卓です。多くの場合、新築時の記念品として兄弟などから贈られた品で、捨てる訳にもいかずに床の間などの座敷を占拠してあります。この座卓が畳表替え時に時折問題を引き起こします。重い畳を日頃扱ってありますので座卓の移動などは朝飯前のごとくに簡単に動かしてしましますが、この動かす時に時折トラブルが発生いたします。何時だったか、お客様のところで起きたとても可笑しい出来事でございます。まるで落語か漫才の様なやり取りに笑い過ぎて肝心の重い座卓を動かす力が出ませんでした。

「おーい」「おーい」とご主人が奥様を呼ぶと

「何だい、お前さん」「お茶でも欲しいのかい」

「馬鹿言ってるんじゃないよ」「足がもげた」

「そりゃー、大変だねえ。畳屋さんにもお前さんにもちゃんと付いてるよ」

「俺の脚じゃねえよ」 「座卓の脚が抜けちゃってんだ」
重い座卓を二人掛で持ち上げたらその座卓の脚だけが4本抜けた状態で畳の上に立ってしまいました。これには本当に困りました。それでご主人は奥様を呼びました。これにはまだ続きが。 「早くしろよな、こいつはおめえより重いんだ」

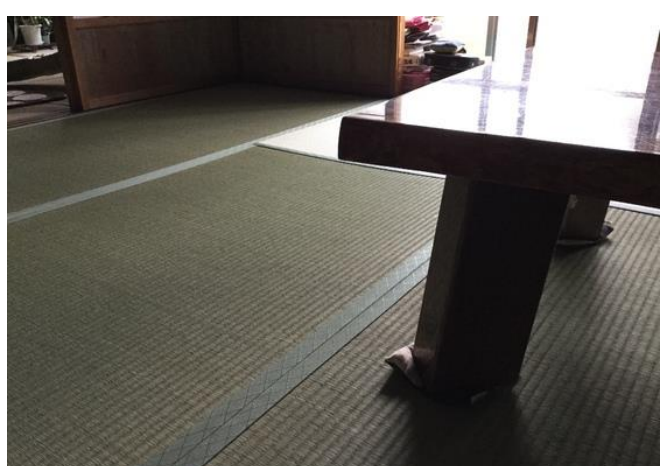
思わずうまいと調

子に乗って

「座布団一枚」
と言ったら、その奥様もユニークな方で

「座卓の脚の下に入れておくれ」とその奥様小さな座布団を手にしておりました。やれやれ！
笑点 これにてお開きと

いたします。



ネコにマタタビ 畳屋にビール (畳屋だって人間だもん)



6月中旬頃になるとマタタビ葉は白く変色するので直ぐに見つける事ができます

似合わない喻に諺で猫に小判、と言われます。これとは真逆に与えると取り返しがつかない喻にネコにマタタビ と言われますね。このマタタビは意外と近くの野山などで見つける事ができます。普段は気が付きませんが、6月中旬頃ともなりますとその葉が白く変色(斑入り)しますので容易に見つける事ができます。いつだったか、仕事帰りにマタタビの枝や葉を採り近所の飼い猫の側に置いたところ、臭いを嗅ぎ、その枝や葉を噛むとその姿は一変して狂ったように寝転んだり、頭を私にスリスリしたりと普段では到底想像出来ない行動をします。このネコにマタタビ現象はそう長続きはしませんでした。覚えてしまえば普段のネコに戻ります。これから暑い夏を迎えますが私にはビールがマタタビに見えてなりません。飲み過ぎてはフラフラと普段とは別人のような行動をするらしい。

Toriaezu ジュール 幻のビールを探して

暑い日の仕事は重労働です。ジリジリと照りつける太陽、気温は急上昇、体力の消耗は激しさを増します。そんな夜の宴会は生ビールが最高にうまい。お客様何にいたしますか？と

「とりあえず、ビール」と何人も客が答えます。このとりあえずビールが日本に来て間もない外国人にはビールの銘柄に聞こえたりします。

数年前の事、近くのアパートに住んでいたカナダから来た英語助手の彼、コンピニで何やら探し物をしている様子、たどたどしい英語でどうしたの？

May I help you? 聞くと彼の言葉に驚き思わず大声で笑ってしまい、店内に居た大勢の客の視線を集めることになってしまいました。その彼はトリアエズビールを探していたらしいのです。

物差し

畳屋さんの道具シリーズ

物差し、一体なんですかと聞かれるような気がしてなりません。この物差しは畳屋さんが畳の寸法を測る際に使用する道具の一つで、解りやすく言うともじりです。この物差しの基準は今でも尺、寸が使われており、現場の大工さんや他の職人さん達も未だにこの尺、寸で大きさを測ったりしております。デジタル社会になって以降センチメートルが増えておりますがまだまだ尺、寸の世界でございます。では吉田畳店の



製造現場はと言いますとデジタルの波には勝てませんので吉田畳店の製造機器は全てオンライン化。キーボードで入力した数値がラインで機器へ転送されます。また畳幅を測るのもデジタル機器です。

オレンジのかぼちゃ



毎年十月下旬になると街中の飾り付けが何故かオレンジ一色になりますね。どうしてだろうとちよつと頭をひねると、「そうか!」。あの色だよね、例の南瓜の色なんです。ハロウィーンのお化け南瓜の独特なオレンジ色です。当店でも十月には遊び心でお化けランタンを作るよう

になりましたが、製作過程で南瓜の種などの中身を工場脇の空き地に捨てたところ、5月下旬ごろから南瓜の芽が出てまいりました。その芽も日を追うごとにその数もどんどん増え最後に数えた時は48本、定植するのは2本で十分です。今年も十月末日には南瓜のランタンを作ることができそうです。昨年ですが、ランタン製作で私は躊躇いもなく畳包丁でカットしたところ、勢い余ってパッサリと肝心な牙の部分で削いでしまい、どう見ても間抜けな表情のお化け南瓜となりました。今年は畳包丁にはこだわらずにカットに挑戦したいと思いますが、でも職人畳なので気づいたら畳包丁を手にかけているかも!

和雑貨屋



鏡石町コミュニティセンター1階へこの程オープンした観光物産館かんてラス、この施設に吉田畳店の和雑貨屋が店開きです。この和雑貨屋を通じて当店の情報発信が出来ればと思ひまして出店いたしました。只今の販売品はイ草製品関連中心で畳へりバツ、その製作キット、ミニ畳、国産畳表を使った枕などですが今後販売品目を増やしたいと思ひます。



この物産館でメインの販売品は何と言っても新鮮な野菜です。契約農家より持ち込まれる朝採りの野菜は大人気で農家が商品を並べる作業をしている最中にもかかわらず消費者は次々と野菜をカゴに入れるほどの人気ぶり。この他にアイスクリームや本格的なホットコーヒーなども楽しめます。また、加工食品の販売も行われております。